

P 1



*Fran^{co} Goya y Lucientes,
Pintor*

生誕250周年

ゴヤは世紀末によみがえる —— ゴヤの世界展

4大連作銅版画『きまぐれ』『戦争の惨禍』『闘牛技』『妄』全作品222点を公開

1996年7月13日(土) ▶ 8月18日(日)

喜多方市美術館



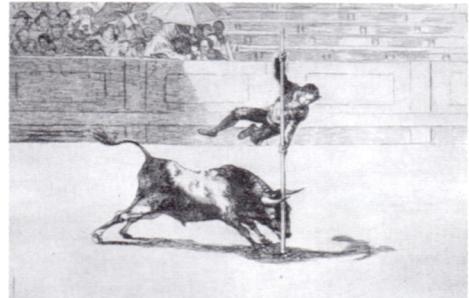
①

—ゴヤは世紀末によみがえる—

4大連作銅版画『きまぐれ』『戦争の惨禍』『闘牛技』『妄』全作品222点を公開



②



③



④

④ きまぐれ No.1 「フランシスコ・ゴヤ・イ・ルシエンテル・画家」

① きまぐれ No.43 「理性の眠りは怪物を生む」

② 戦争の惨禍 No.15 「もう助かる道はない」

③ 闘牛技 No.20 「マドリッド闘牛場でファニート・アビニャーニが見せた敏捷さと大胆さ」

④ 妄 No.13 「飛翔法」

⑤ イタリア画帖から



⑤

200年前、ゴヤが生きた時代のヨーロッパは、1789年のフランス革命を頂点に近代社会へと転換していく渦中にあった。

ゴヤは1746年、アラゴン地方の寒村フェンデトードスでごく庶民の子として生まれ、青年時代サラゴサで画家として第一歩をした。マドリッドに移り住んだゴヤはタビスリー工場の下絵描きの職人から宮廷画家までのぼりつめていた。この時期ゴヤは、フランスを起源とする啓蒙思想の影響を受けるようになる。1792年ゴヤ46歳の時、重病に見舞われ病床に伏してしまい、克服するが聴覚を失ってしまった。この後ゴヤは83歳で息をひきとるまで、鋭く人間洞察した作品を生み出していく。

『きまぐれ』は1797年、制作に着手し1799年に出版された。御用画家がスペインの現実社会の姿を赤裸々に、痛烈に批判した始めての作品となった。しかし異端審問会からの告発からか2日間で発売停止となってしまった。この版画集は、その幻想性や寓意性がフランスのロマン主義に大きな影響を与え、ゴヤがヨーロッパで高く評価されることになる。『戦争の惨禍』は対フランス独立戦争中の1810年に着手しその後の10年のスペインの絶望的状況を刻んでいる。刊行はゴヤの死後1863年にされている。闘牛の熱烈なファンだったゴヤが描写した『闘牛技』、最も謎につつまれたシリーズ『妄』、ゴヤの4大連作版画全222点を紹介します。

またプラド美術館が1993年に購入し公開した若き日のゴヤが残したスケッチブック『イタリア画帖』の復刻版（プラド美術館刊）もあわせて紹介します。

200年前にゴヤが描き出した世界、「人間の悲喜劇」、「権力風刺」そして「戦争告発」に込められたメッセージが今日20世紀末に生きる私たちに問いかけるものは……。

〈関連行事〉

◆講演会とコンサート

講演 「ゴヤ 人間として、芸術家として」

講師 大高保二郎 氏（跡見学園女子大学教授）

コンサート 「ゴヤによる24のカプリチヨス」

M.C=テデスコ他 演奏 若狭広樹 氏（ギター）

7月20日(土) 午後5時～

会場 大和川酒造・北方風土館

※入場無料（ただし入場整理券が必要となります。喜多方市美術館まで問い合わせ下さい。）

◆ギャラリー・コンサート

7月21日(日) 午前11時／午後2時〔第一展示室〕

演奏 若狭広樹 氏（ギター）

カタロニヤ民謡 「鳥の歌」

M.C=テデスコ 「ゴヤによる24のカプリチヨス」から 他

※チケットを求めて入館下さい。

◆ビデオ・シアター

「ゴヤの生涯—革命と動乱に生きた天才画家—」

スペイン国営テレビ制作 1985年 5時間22分

7月14日(日)・28日(日)・8月4日(日)・11日(日)・18日(日)

午前11時～午後5時

※チケットを求めて入館下さい。

〈関連開催〉

・ゴヤのイタリア画帖（復刻版—プラド美術館発刊）公開

・10人の作家による「版画で描かれた13のゴヤの絵画」展

■開館時間 午前10時～午後6時（ただし入館は午後5時30分まで） ■休館日 毎週月曜日 ■観覧料 大人500円（400円）高校・大学生等300円（250円）小・中学生200円（150円）＊（ ）内は20名以上の団体料金 ■主催 喜多方市美術館 喜多方市 喜多方市教育委員会 ゴヤの世界展実行委員会 ■後援 スペイン大使館 福島中央テレビ 読売新聞社 福島民友新聞社 ■協賛 大和川酒造 ■協力 ゴヤ版画館 ヤマト運輸株式会社 ■お問い合わせ 喜多方市美術館（〒966 喜多方市鶴巻5307-3 ☎0241-23-0404）